かけはし

学校と家庭とを結ぶ学年通信

明石市立江井島中学校　第３学年

～　合言葉は「みんなでみんなを！」～　　２０２１年４月１５日NO，４

学級目標決定！

新学年・クラスがスタートして、１週間がたちました。そろそろ馴染んできたでしょうか？初めはぎこちなくても、共に授業や係活動をしていくうちに理解し合えていくものです。少しずつゆっくりとクラスにとけ込み、居心地のいい安心して活動できるクラスを創っていきましょう。

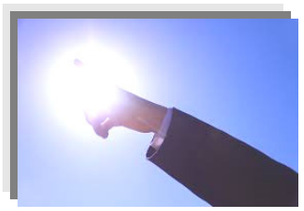
こんなクラスを創りたい！

１組　　ピカイチ！　～太陽のように熱く輝け～

２組　　笑顔あふれる３１５０（最高）のクラスを創る

～　The　best of the three　～

３組　　飛躍～光り射す未来に向かって～



３年生になって　　（生徒作文より）

１組

僕は３年生になって、３年生はとても大事な時期で、自分の将来が決まると言ってもおかしくない時期です。また僕たちは「受験生」と言われる立場になり、２、３月には受験が待っています。今のうちに勉強を頑張り、いい高校に入れたらいいなと思います。

７月には、２年間やってきた部活が終わってしまいます。この２年で積み上げてきた努力や団結力で総体も勝っていけるように頑張りたいです。最後に、９年間いっしょにがんばってきた仲間たちが自分の将来にむけてばらばらになってしまいます。９年間辛いときも楽しいときもいっしょにいた仲間たちとの別れはとても悲しいけれど、自分の将来の一歩として、９年間の学校生活を笑顔で終われるように頑張っていきたいです。

ありがとうございました。
いつまでもお元気で・・・

１３日に「離任式」が行われ、３月に江井島中を去られた先生方が、みんなへの思いを語ってくださいました。多くの先生方が、江井島中の先生や生徒たちとの出会いに感謝し、さらにいい学校にしてほしいという思いを語っておられました。

中でも「**43回生のみんなと一緒に卒業までいたかった。悔しいです。**」という山田先生の言葉にはすべての思いが込められているようで、胸がいっぱいになりました。「**日本一の学校にしてください。そのためには3年生が見本となって、頑張ってください。**」のメッセージを忘れずに、３年生が先頭に立って学校全体を盛り上げていきましょう。これからも大久保中から応援してくださっていますよ。

喜谷先生は、わずか３ヶ月でしたが中身の濃い時間でした。職員室で、いつもみんなのことを「いい子たちや～。かわいいわ～。」と褒めてくださっていました。私たちは、その言葉にいつも元気をもらっていました。みんなへのメッセージを紹介します。

江井ヶ島中学校３年生の皆様へ

４月に入って、ふたたび、日々おだやかな時間が流れています。しかし、３ヶ月前とは、ちがいます。

なぜって？

１２０人の皆さんから、大きな力（エネルギー）をいただきました。

皆さんと一緒に授業をしながら、いつの間にか、自分の気持ちが、若い頃にタイムスリップしていました。次第に、元気づけられていきました。

何といっても、毎日、感心することばかりでした。

特に、授業が、とてもやりやすかったことです。振り返ってみると、不思議と燃えていました。

校舎内から、皆さんの若々しい声が、いつも聞こえていました。

このような環境の中で、私は、徐々に衰えていくはずの自分に、新たな自信と力を与えてくれたような不思議な気持ちになりました。

そして、今があります。

皆さん　ありがとうございました。

この１年間は、皆さんにとって、とても大切な時です。担任の先生、お父さんやお母さんと、よく相談して、皆さんの思いと願いが、かなえることを願っております。

令和3年4月　喜谷